

応用情報技術者 試験対策テキストⅡ【システムの利用と開発編】 Ver.6.1 訂正表

下記の通り訂正がございます。

ご迷惑をおかけして、誠に申し訳ございません。

■45 ページ 下の枠組みの SQL 文 ②の行

(誤) FROM 社員, 配下社員

(正) FROM 社員, **社員結果**

■45 ページ 下から 3 行目

(誤) SQL 文で上司社員番号が配下社員の社員番号と一致する

(正) SQL 文で上司社員番号が**社員結果**の社員番号と一致する

■69 ページ 表 3.1 下 解説文 3 行目

(誤) データリンク層のプロトコルであ。

(正) データリンク層のプロトコルである**る**。

■82 ページ ●無線 LAN の構成 1 行目

(誤) 無線 NIC を搭載したノードどうしでの通信するアドホックモードや、

(正) 無線 NIC を搭載したノードどうしで通信するアドホックモードや、

■84 ページ 参考 : RTS/CTS 制御 図 3.29

(誤) 図 3.29 TRS/CTS 制御

(正) 図 3.29 **RTS**/CTS 制御

■98 ページ 1 行目

(誤) このイーサネットフレームにに含まれるアドレスは

(正) このイーサネットフレームに**に**含まれるアドレスは

■155 ページ 下から 3 行目

(誤) ビット列をハッシュ値またはをメッセージダイジェストという。

(正) ビット列をハッシュ値または**は**メッセージダイジェストという。

■165 ページ ●セキュリティを保つべき境界 2 行目

(誤) 鍵や IC カード又は生体認などで制御された

(正) 鍵や IC カード又は**生体認証**などで制御された

■176 ページ 参考：ポートミラーリング 4 行目

(誤) ポートミラーリング機能をを利用することが多い。

(正) ポートミラーリング機能をを利用することが多い。

■184 ページ ・通信内容に基づく制御 1 行目

(誤) 通信内容が第三者に傍受する可能性

(正) 通信内容が第三者に傍受**される**可能性

■226 ページ ●スーパステート 下から 2 行目

(誤) この例ではスーパステート中に開始状態を用けており、

(正) この例ではスーパステート中に開始状態を**設けて**おり、

■234 ページ ●条件網羅 1 行目

(誤) 条件 a が偽ケースがテストされない。

(正) 条件 a が偽**の**ケースがテストされない。

■256 ページ 索引 Dos 攻撃

(誤) Dos 攻撃…… 165, 189

(正) Dos 攻撃…… 189

■259 ページ 索引 アドウェア

(誤) アドウェア…… 178 →削除